

平成26年11月26日
東日本高速道路株式会社
定例記者会見 配布資料

今冬期の首都圏における大雪対策について

～ 平成26年2月の大雪経験を踏まえて除雪体制の強化などを図ります ～

平成26年2月に関東地方を襲った記録的な大雪により、首都圏を中心とした広範囲の高速道路で長時間の通行止めを余儀なくされ、多くのお客さまにご不便、ご迷惑をお掛けしました。

当社では、その経験を踏まえ、同月ただちに社内に『首都圏大雪対策プロジェクト検討会』を立ち上げ、今冬期の大雪対策について検討を重ねてまいりました。



雪道研究家
マンモシ博士

■平成26年2月の大雪の概要

| | 2月8日 ～ 2月9日 | 2月14日 ～ 2月15日 |
|-------------|---|---|
| 大雪の状況 | 千葉: 33cm【観測史上1位】 熊谷: 43cm【同2位】 東京: 27cm【同7位】 など | 宇都宮: 32cm【観測史上1位】 熊谷: 62cm【同1位】 前橋: 73cm【同1位】 軽井沢: 99cm【同1位】 東京: 27cm【同7位】 など |
| 高速道路の通行止め状況 | 延長: 1,728km【営業延長の46%】 最大通行止め時間: 72時間40分 | 延長: 1,436km【営業延長の38%】 最大通行止め時間: 106時間40分 |



■平成26年2月大雪時の課題

年に数度しか降雪が無いものの、一旦大雪で通行止めとなると影響が大きい首都圏における大雪時の通行確保と雪氷体制のあり方（通行止めによる影響の最小化）

■今冬期の首都圏における大雪対策の概要

通行止めによる影響を最小化するために、4つの柱の大雪対策を実施します。



1. 首都圏の除雪体制を強化し、通行止めの回避に努める
2. 関係機関との連携強化を図り、通行止めの早期解除に向けた新たな対策を実施
3. 除雪作業の支障となる滞留車両の早期排除を行い、通行止め時間の短縮を図る
4. お客さまへの情報提供について新たな取組みを展開

■大雪対策の具体的内容



1. 首都圏の除雪体制を強化し、通行止めの回避に努めます！

特に、都心と日本の空の玄関口である成田空港間は、除雪能力を昨冬期の3倍に強化するなどして交通アクセスを確保します。

(1) 首都圏の除雪体制強化のために、広域応援を考慮し雪氷車両を12台増強

※ 新規購入する雪氷車両12台(除雪車4台、ロータリー車8台)のうち、ロータリー車8台は通常時、首都圏以外の配置稼働とするが、大雪予報時には降雪前に広域応援構築して首都圏の除雪体制強化を図ります。

【首都圏の雪氷車両 昨冬期:72台体制 ⇒ 今冬期:12台増車(合計84台)】



除雪車



ロータリー車

(2) 最重要路線(東関東道 都心～成田間)の除雪体制を強化

※ 除雪車両を新たに4台購入するとともに、大雪時には近隣事務所からの応援体制も構築し、除雪能力を昨冬期の3倍に強化します。

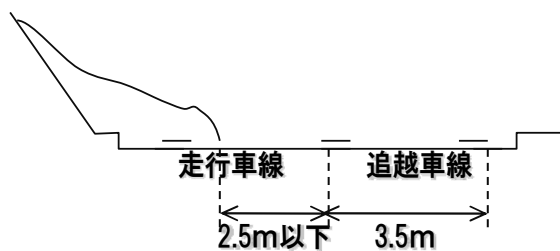
【昨冬期:6台体制 ⇒ 今冬期:最大18台体制】



2. 関係機関との連携強化を図り、通行止めの早期解除に向けた新たな対策を実施します！



(1) 大雪での通行止めが長期化するおそれがある場合、関係機関と連携し、追越1車線を先行除雪するなど、計画的に早期の通行止め解除を目指す



【追越車線1車線の先行除雪イメージ】

(2)一般道管理者との連携強化を図り、一般道も含めた広域ネットワークを確保

※降雪予測から高速道路が通行止めとなるおそれがある場合、一般道管理者と緊密な情報交換を実施するとともに、豪雪時には関係機関にリエゾンを派遣するなどして、優先的に除雪する区間等の調整を行い、一般道も含めた広域ネットワークを確保します。



3. 除雪作業の支障となる滞留車両等の早期排除を行い、通行止め時間の短縮を図ります！

(1)改正された災害対策基本法を活用し速やかな移動を実施するために、レッカー車等の事前配備を増強するとともに、滞留車両の早期発見に向けた監視体制も強化

※滞留車両が発生しやすい箇所を選定し、レッカー車等の事前配備を増強
【昨冬期:10ヶ所10台 ⇒ 今冬期:13ヶ所15台】



※滞留車両の早期発見のための監視Webカメラを増設し、監視体制を強化
【関東地区 昨冬期:100台 ⇒ 今冬期:35台増設 (合計135台)】





4. お客さまへの情報提供について、新たな取組みを展開します！

(1)大雪時、『通行止めのおそれのある路線等に関する情報提供』を新たに展開

※降雪予測に基づき、従来より行っている2~3日前からの注意喚起に加え、新たに24時間前程度から朝・昼・夕方に通行止めのおそれのある路線や地域についての情報を公表し、マスコミ等を通じた情報提供を推進

(2)情報発信ツールを拡充し、新たな情報発信サービスを展開

- ※ドラとら からのメール配信の強化
- ※ドラぶらアプリからのポップアップ機能の追加
- ※災害時専用ツイッターの新規立上げ「NEXCO東日本(道路防災情報)」

H25年度まで

◆ドラとら緊急メッセージ
(ユーザーが情報が自ら情報を取りに行く)

【情報提供の強化(数値比較)】

H25年度 まで: ドラとら 190万PV/月

+

H26年度~ : アプリ会員 : 40万ユーザー
: ドラとらマイルート会員: 45万人

H26年度~

◆緊急メッセージの配信強化
(ユーザーに情報が自動的に届く)

①ドラぶらアプリ (スマホ画面にPush配信)
②ドラとらメール配信 (スマホ画面にPush配信)

◆気象予測会社の積雪予想ページ

積雪1日前から情報提供が可能
⇒出控えを啓発

【お客さまへの情報発信の強化】



雪道研究家
マンモシ博士

《お客さまへのお願い》

- *冬の高速道路を安全にご利用頂くために、NEXCO東日本ホームページの『マンモシ博士の冬の高速道路講座』をご覧ください。
- *大雪が予想される場合には、不要・不急のお車のご利用はお控えください。